様式Ⅰ

令和 8 年度　福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム

（園番号）No. 239　　（園名）　三谷館認定こども園

カテゴリー		アクション	確認	特に園で取り組みたいこと アクション番号・具体的なアクションの内容・それを実現するための具体的な方法・手段等	達成度 ◎・○・△・×	評価・次年度に向けて
Ⅰ子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1)乳幼児の教育・保育について、質の高い実践を行います。	☑	カテゴリーⅠ (2)・自己評価を実施し、教育・保育の質の向上を図る。 ・保育者等の自己評価と教育・保育計画の見直し。研修に参加する。保育教諭の得意な分野を保育・教育の中に活かし、理念の『共に輝く命』に基づき『私のやりたい事シート』を作成する。シートを持ち寄り共有。月に一回、お互いの持ち場の評価・反省を伝い合う。 (3)・保育カウンセラーの訪問及びケース会議を行う。 ・「人権擁護のためのセルフチエックリスト」を半年に一回確認し合う。子どもには絵本等を使って自分のプライベートゾーンを知り、自分の身の守り方・大切にする事等伝えると共に保育教諭の不適切保育防止を徹底する。(保育所における人権擁護等の関するチェックリストを半年に１回確認する。)		
		(2)自己評価の研究･活用による教育･保育の質の向上を進めます。	☐			
		(3)子ども一人一人のニーズに対応したきめ細やかな教育･保育を提供します。	☐			
		(4)子どもの健康支援並びに安全の確保をします。	☑			
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5)保育者等の人間性と専門性の向上に努め、質の高い乳幼児の教育･保育を展開します。	☑			
		(6)施設長の責務を明らかにし、専門性の向上に努めます。	☐			
		(7)研修体系を確立し、研修意欲を高め、積極的に研修に取り組む環境を作ります。	☑			
Ⅱ子育て家庭を支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8)子どもを産み育てることへの不安を解消するための機能を発揮します。	☐	カテゴリーⅡ (9)・子どものつぶやきや遊びの連続性等を大切にした、コドモンでのドキュメンテーション作成を週一回のペースで取り組む。 ・保護者の保育体験と、希望者や個別支援が必要な保護者とは個人懇談会を実施する。		
		(9)家庭との密接な連携を行い、子育てに共に取り組みます。	☐			
	地域の子育て家庭への支援の充実を図ります	(10)子育ての喜びや楽しさを実感できるように、教育･保育の専門性を生かした子育て支援を行います。	☑			
		(11)地域子育て支援を展開します。	☐			
		(12)地域の子育て家庭に対する保育相談及び援助の充実を図ります。	☐			
Ⅲ多様な連携と協働を進めます	子育ち･子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13)福井市の支援事業実施関係機関や、地域を基盤とした子育て支援ネットワークとの充実を図ります。	☐	カテゴリーⅢ (14)・架け橋カリキュラムの作成。 ・一年を通して小学校との交流や連絡会、公開保育等で連携を密にし、就学への移行がよりスムーズに行えるようにする。		
		(14)小学校等との連携を深めます。	☐			
		(15)認定こども園、保育所等が中心となった地域子育て協働を展開し、子育て支援の総合的な拠点となります。	☑			
	地域と連携して教育･保育機能を強化します	(16) 地域の実情を把握し、子育て家庭を支える資源を活用し、連携を充実します。	☐			
Ⅳ子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(17)子どもと地域の人々との接点づくりに取り組みます。	☐	カテゴリーⅣ (17)・小学生、中学生、高校生、短大生、大学生、教諭等の教育・保育（実習）の受け入れを進める。 ・園の魅力発信をインターネット（インスタ）を通じて行う。『一日一発信』を目標に。また、より伝わりやすいようにインスタやリールの内容の充実化を図る。		
		(18) 地域住民に認定こども園･保育所等への理解を深めてもらう取り組みを進めます。	☐			
	子育て文化につながる活動を広げます	(19)子育て支援活動への参加のきっかけをひろげ、すべての子育て家庭の親子の参加運動を進めます。	☐			
		(20)すべての世代が関わる子育て文化の掘り起こしや子育て支援の推進や普及に取り組みます。	☑			
Ⅴ安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	これからの乳幼児の教育･保育及びその制度について研究を行います	(21)認定こども園･保育所等の役割、機能について研究を行います。	☐	カテゴリーⅤ （23）・アクションプログラムに基づいた活動計画案作成と実施。 ・男性育児参加の推進（一日保育体験では父親も参加しやすいような雰囲気作り…。）		
		(22)これからの乳幼児の教育･保育制度について課題の共有を行います。	☑			
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(23)福井市の児童福祉関係機関との連携を深め、教育･保育･子育て支援の仕組みづくりを進めます。	☐			

《確認》　年度末に確認、☑チェックをする。

《特に園で取り組みたいこと》　23のアクションから、特に園で取り組む内容（番号も記載）と具体的な方法等を記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。　○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。　△：不足する部分や問題があった。　×：目標を達成することができなかった。《評価・次年度に向けて》　達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。